

## 令和5年度 茨城県立水戸第一高等学校附属中学校卒業式 校長式辞

若者たちの前途を照らし出すかのような、暖かな春の光に包まれる中、ご来賓として、奨学会の阿部副会長、東田監査、そして高村前校長をお迎えし、保護者の皆様とともに、本校初となる卒業式を挙行できますこと、大変ありがたく、心より御礼申し上げます。

まず何より、一期生80名全員が卒業を迎えることができたこと、この上ない喜びがあります。改めて卒業生の皆さん、卒業おめでとう。また、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

ただ今、卒業証書を一人ひとりに授与しましたが、卒業証書といっても、物質的には、ただの紙であり、化学分析しても特殊な成分は何も検出されないでしょう。しかし精神的には、本校をめざして頑張っていた日々を含めた、皆さんの汗と涙の結晶であり、まさしく「堅忍力行」の証。

と同時に、皆さんを励まし、支えて続けてくれた家族や友人、先生たちの思いもこもった、かけがえのない特別な一枚です。

ここで、「卒業」の「卒」の字を思い浮かべてください。真ん中に、人がふたり並んでいるでしょう。皆さんが今日、卒業までたどり着くことができたのは、ともに歩み、寄り添ってくれる人がいたからこそ。その意味で、卒業証書は、単独で受けるものではなく、支えてくださった方々と共同で受けるものだとして理解してください。

そして、普段はなかなか素直に伝えてこられなかった感謝の言葉を、卒業式の今日こそは、そばで支えてくださった方々に、真っ正面から伝えてください。

さて、3年間の学校生活では、海外・国内研修旅行や歩く会、学苑祭など、様々な思い出が残ったことでしょう。その中から一つだけ、昨年7月の「心に火をつけるフォーラム」を振り返ってみたいと思います。

バングラデシュから来校され、「ここは母国と同じくらい暑い、ここはリトルダッカだ」と言われながら、まさにこの体育館で講演してくださった、ノーベル平和賞受賞者ムハマド・ユヌス博士の言葉を、ここで改めて紹介しましょう。

「成功と失敗は、天と地のように、かけ離れたもののように思うでしょう。しかし、実際には、成功と失敗は、コインの表と裏のようなもの。とても近くにある。なので、失敗を恐れないでください。失敗は、失望ではなく、学習です。最初に失敗することは、むしろ幸運なことです。最初にたまたま得られた成功は、頑丈な成功ではありません。最初に失敗して、そこから弱点を洗い出し、それらを修正して再びチャレンジすることによって、当初思い描いた以上の大きな成功を収めることができるでしょう。失敗は、人生の貴重な一部です。失敗と成功を重ねながら、前に進み続けてください。」

皆さんは、附属中一期生として、「Be a First Penguin」をスローガンに掲げてきました。これからも、「ファーストペンギン」のような、失敗を恐れないチャレンジ精神を持ち続けてください。

と同時に、「ラストペンギン」をも目指してほしいと思います。「ラストペンギン」とは、ペンギンたちが氷の海に飛び込んでいく中で、なかなか飛び込めないペンギンに寄り添い、励まし、そして全てのペンギンが無事に海に飛び込むのを見届けてから、最後に海に飛び込むペンギンのことです。

ちょうど、船長さんは、船が事故にあったとき、すべての乗客・乗員を安全に避難させてから、最後に船を離れるべき最終責任者なので、「ザ・ラスト・パーソン」と呼ばれることがあるのと同じことです。

皆さんは、「ファーストペンギン」と「ラストペンギン」、どちらが自分に合っていると思いますか？

実は、最新の研究では、ペンギンは霊長類とは異なり、固定的なリーダー、いわゆるボスを持たないことが明らかになっています。すべてのペンギンが交代でリーダーの役割を果たすのだそうです。

皆さんも、あるときは真っ先に氷の海に飛び込み、あるときは動けなくなった仲間に優しく寄り添い、あるときは最後までどっしり構えて動じない、といったように、そのときどきにおいて、自分らしい形でリーダーシップを発揮して行ってください。

最後に、皆さんは、「黄金の3割」という言葉を聞いたことがあるでしょうか？これは、「全体の中で、あるグループの割合が3割以上になれば、全体の意思決定に無視できない、大きな影響力を及ぼすようになる」という、ハーバード大学の教授が提唱した理論です。このような理論も参考にしながら、例えば、国会議員や東大の学生等で女性の比率を30%以上にしよう、といった目標が設定されているわけです。

これから水戸一高に進学し、新入生の3分の1を占めることとなる皆さんは、水戸一高の未来を左右する、まさに「黄金の3分の1」の存在です。附属中一期生としての誇りと絆をもって、新しい時代の水戸一高を創り上げていってくださることを心より願って、式辞といたします。

令和6年3月15日 校長 御厩 祐司